

第102号
進路特集

藤枝明誠 ニュース
Fujieda Meisei News 2021.5

令和2年度大学合格状況



わまぜんてした。したか
つて、年明け前に数年分
やつておくのがオススメ
です。勉強は楽しくな
い、やりたくない、苦痛
だと感じる人が大多数だ
と思います。私もそうで

国立78名
早慶^{早稲田 慶應}
上立^{上智 明治 青山 立教}
ARCH^{中央 法政 東洋}
東理^{東理}
38名
関関^{関西 関国学院}
同立^{同立社 立命館}
36名

全力で受験に取り組み、多くの実績残す

主な合格私立大学

早稲田大 4 名	慶應義塾大 5 名	上智大 3 名
明治大 7 名	青山学院大 4 名	立教大 1 名
中央大 8 名	法政大 1 名	東京理科大 5 名
関西大 1 名	関西学院大 5 名	同志社大 4 名
立命館大 26 名	獨協大 1 名	文教大 3 名
神田外語大 1 名	亜細亜大 2 名	北里大 3 名
共立女子大 1 名	杏林大 3 名	工学院大 1 名
國學院大 4 名	国土館大 3 名	駒澤大 5 名
芝浦工業大 2 名	順天堂大 5 名	成蹊大 1 名
専修大 21 名	大東文化大 4 名	拓殖大 7 名
玉川大 7 名	多摩美術大 1 名	帝京大 11 名
東海大 7 名	東京女子医科大 1 名	東京電機大 5 名
東京農業大 11 名	東洋大 16 名	日本大 13 名
日本体育大 2 名	武蔵大 1 名	東京都市大 3 名
明治学院大 10 名	武蔵野大 6 名	神奈川大 19 名
関東学院大 9 名	静岡産業大 9 名	静岡理工科大 6 名
聖隷クリストファー大 5 名	常葉大 218 名	静岡英和学院大 5 名
浜松学院大 6 名	静岡福祉大 5 名	愛知大 7 名
愛知学院大 9 名	中京大 15 名	中部大 7 名
名古屋外国語大 13 名	南山大 3 名	藤田医科大 1 名
名城大 13 名	皇學館大 1 名	京都産業大 1 名
同志社女子大 2 名	龍谷大 4 名	近畿大 7 名

(私立大学合計737名)

令和2年度大学合格状況
明誠ならではの丁寧な指導が合格実績を生み出す

国公立大学合格状況

東京大 1 名	京都大 1 名
北海道大 1 名	名古屋大 1 名
一橋大 1 名	東京工業大 1 名
浜松医科大・医 2 名	静岡大 10 名
静岡県立大 14 名	静岡文化芸術大 2 名
山形大 2 名	茨城大 2 名
筑波大 2 名	千葉大 1 名
東京学芸大 2 名	横浜国立大 1 名
新潟大 3 名	山梨大 3 名
和歌山大 1 名	広島大 1 名
高知大 1 名	琉球大 1 名
釧路公立大 6 名	青森県立青保健大 1 名
青森公立大 1 名	会津大 1 名
高崎経済大 1 名	横浜市立大 2 名
金沢美術工芸大 1 名	山梨県立大 1 名
都留文科大 3 名	長野県立大 1 名
岐阜薬科大 1 名	福知山公立大 1 名
公立鳥取環境大 2 名	長崎県立大 1 名
名桜大 1 名	(国公立大学合計78名)



“非日常”を“日常”に変換し
合格を勝ち取る

共通テスト対策は授業と教科書にあり



進路課長
本杉 敬典

入試改革とコロナ禍の影響で混迷を極めた2021年度入試が終わった。「進路室だより73号」では「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「共通テスト」について振り返ったので、明誠ニュースの今号では「一般選抜」について検証したい。

共通テストが終わり、一月の下旬から私大の一般選抜が始まる。ここから受験生は疾風怒濤の時期を過ごすことになる。私大受験とその合格発表、国公立前期試験、私大の後期・三月入試、国公立中期・後期試験：この間に学習ペースや生活習慣が、そして合否結果で精神の乱れが生じる。そこで、明誠では例年、二月から家庭学習に入っても登校を促し、二次対策講座への積極参加や自学習を勧めてきた。それは、登校し学習活動に励むという小学校以来12年間続けてきた習慣を守ることで、非日常が日常に回帰し、平常心が生まれ受験に集中するリズムが整い、また、苦しい時期に同じ空間で頑張っている仲間から刺激と勇気をもらい、お互いに励まし合いながらメンタル面を強くし「受験は団体戦」の精神で勝負に臨めるからだ。しかし、コロナ禍で昨年はいつもの明誠スタイルを強調することが出来なかった。二次対策講座、小論文・面接

の個別指導、自学習全てのにおいて感染症対策で登校時間や活動場所、校内での動線に至るまで制限せざるを得なかったが、そんな中、36期生は多くの生徒が学校に足を運んで学習に集中した。その結果、右ページに示した成果となった。

特筆すべきは、国公立大学受験で共通テストが不本意な結果となり事前の判定が厳しかった生徒で、逆転合格を勝ち取ったケースが少なくなかったことだ。そのような結果を生み出した生徒に共

コロナ禍でも諦めない学習

令和2年度の入試は、かつて無いほど変化の著しい年であった。受験生にとっては、前年度からの高大接続による大幅な教育改革の下、記述式解答や英語の外部資格試験導入を加えた大学共通テスト、従来の推薦入試と異なる2種類の選抜推薦入試など、多くが新たに実施する年となった。一方で、社会では東京五輪の開催年でもあり、受験生には始めから慌たしさが予想されていた。しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、受験生を含めた社会は大きく変わらざるを得なかった。

感染防止対策を踏まえた
新入試への準備とチャレンジ



前3年学年主任
小股 範保

環境と異なる点に不安と困惑を深めていった。こうした不安と困惑を払拭していくために、「受験は団体戦であり、生徒が相互に高め合う」という共通テスト対策では、

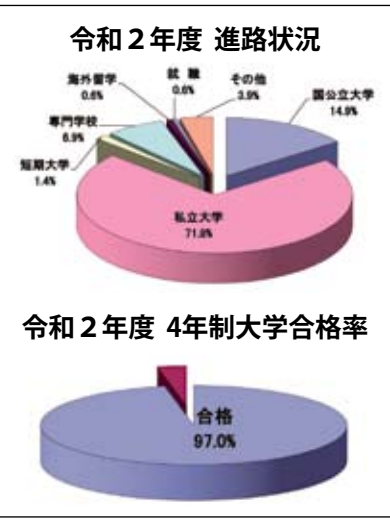
性や特技を十分に相手に伝えるために、文章表現力を高める志望理由書や小論文講座を実施した。このように生徒達の粘り強い受験学習によって

一人一人の目標達成に至った。その中で、普通科の生徒諸君が国公立大学に9名合格を果たしている点に注視する。普通科や英数科の区別無く文武両道を目指して、国立大学に合格する生徒の姿を示したことである。

最後に、高校3年生は「9時まで学習」を皮切りに、いよいよ受験勉強のいスタートを切った。各自が初心の夢や目標を具現化していく取組（学習と努力）を継続していこう。君達の傍には常に支え励ます明誠の先生方がいる。先輩達と同様に、明誠ワンチームで受験ロードを駆け抜けよう！

通する点は、普段の定期テストや外部模試を必ず二度、三度とやり直していたことだ。復習し自らの課題を発見し向き合う習慣が身についた生徒は、共通テストや私大入試後もこれを継続する。受験本番、わずか一月であっても学力が向上する、偏差値で3〜5は上がると言われるが、この繰り返し習慣が身につけている生徒に対しての言葉であろう。復習し修復された情報を記憶するのが脳のシステムであることを考えれば当然である。また、国公立大に限らず、第一志望を突破した生徒たちは、目標に対する真っ直ぐな思いと最後まで諦めない気持ちを持つており、追われる者より追う者が、王者より挑戦者が強いのが受験であるという事を彼らは示してくれたと思う。そして、「明誠ダイアリー」をきちんとつけることで自己管理能力を培った生徒が、非日常を日常に変換し、本番にも平常心で臨み最高のパフォーマンスで合格を勝ち得ていることを強調したい。

①「生徒が学習をする場面」②「社会生活・日常生活の中から課題を発見し解決方法を考察する場面」③「資料やデータ等を基に考察する場面」を重視するとしている。①、②、③から分かることは、共通テスト対策で重要なのは「授業であり教科書である」ということだ。先生方の授業で、教科書で、知識だけでなくその捉え方、考え方を学び、グループ学習、プレゼン、ディスカッション等で自分の意見を表現し友人の意見に真剣に耳を傾ける。様々な学習活動に積極的に参加することで、共通テストの思考力を問う問題のシチュエーションを体験することになる。家庭学習においても、英語長文読解の予習で辞書を引かず類推し解釈を試みる、理科の授業内容の復習で日常のどんな現象に関連するかを考える等、能動的に取り組むことが大切だ。そして②の場面については、例えば「SDGs」（知らない人はすぐ調べる事）。これは、政府、自治体、企業そして個人一人ひとりに求められている国際的な行動目標だ。それを受けて学力の三要素の一つ「主



「橋大学(商)合格



柴原 類
310 HR (和田中出身)
一橋大学(商)へ進学

私は2年生の夏のオープンキャンパスで、雰囲気の良いと商学を学びたいという思いから一橋大学を志望するようになりました。

志望するにあたって最大の難関は数学と英語でした。数学は以前から得意ではあったものの、一橋大学の数学にはまるで太刀打ちできませんでした。英語はもともと苦手だったので、長文やリスニングに苦労しました。

そこで私はYouTubeで様々な人が挙げている受験論や勉強・講義動画をみて、自分が今なにをするべきなのかを第一に考え、受験計画を作成し修正を繰り返しました。今思えば、ここでのフィードバックを繰り返すことが道を間違えずに合格まで独学でできた最大の要因だったと思います。

夏休みまでにレジェンドや英語長文700、データベースや世界史の通史を終わらせました。国語も先生から頂いた参考書を回しました。その後はブラチカや英検準1級の勉強、共通テスト対策集や過去問を臨機応変に行いました。参考程度にしてください。

このような私の受験生活で最も気持ちが沈んだ時は11月のオープンでD判定をとった時でした。自分は一橋大学をうける資格があるのか悩みました。しかし大学への熱意はかえられず、勉強に勤めました。合格につながった。合格に繋がった。合格に繋がった。合格に繋がった。

最後に私から伝えたいことがあります。それは受験の最大の意義は悩むことにあるということです。私の場合、周りが当初志望していた大学をあきらめていき、最終的に文系で数学を勉強するのは私だけになりました。そのような中でも必死に悩んでフィードバックし、確実に合格に近づいて、着実に知識の定着につながりました。是非これから受験生も自分を信じて、何を今すべきなのかを考えて受験に取り組んでいただきたいと思っています。

追記
英検準1級はもっていると自分の自信に直結します。がんばって取得を目指してみてください。私はこれに大きく救われ、共テ利用入試で合格することが出来、安心につながりました。

孤独との戦い



花村 ひな

(掛川西中出身)

都留文科大進学
(文学部)

(文学部)

い、常に緊張感をもって練習に取り組みました。

面接当日の前日まで、新しい質問と解答を考えどんな質問がきてもいいようにしました。

わらせないければならない
 かと考えました。1ヶ月
 ごとの計画が決まったら、
 1日ごとの計画を立て自
 分が今何をやらなければ
 ならないのかを明確にし
 て最後まであきらめない
 後まであきらめちゃいけ
 ないと多くの人に温かい
 言葉をかけていただき、
 最後までがんばることが
 できました。結果は合格

戦であるということ。勉強するのも受験するのも結局個人の問題だろと思う人もいると思う。私もそう思っていた。しかし、霧囲気、環境は人の心を

3つ目は、時間は有限

ると、早い時間帯に寝れなくなってしまう。睡眠時間を削るくらいなら早く寝て朝やることを推奨する。

3つ目は、時間は有限

た問題集2冊とセンター試験の過去問に加え、過去の模試を演習に使って、古文や漢文に慣れました。過去の模試は自分の間違えた問題の復習はもちろ

周りの仲間の存在に何度も励まされました。

倫理の山本雅通先生がよく「落ちて落ちて、最後が一番良い大学に受かる」と仰っていました。

半分しかない小論文と英
国社3科目7割以上取ら
ないと合格は難しい共通
テスト、この2つの準備
を平行して行うことは私
にとって地獄のようにし
われた事もありました。
しかし、周りの友達が進
路決定した今では、孤独
感は消えました。勉強に
没頭した経験や複雑な感
情を糧として、今後も頑

ない。

以上の事は、私が出来なかつたから感じたことである。ただ合格できた方には、お世話になった方々に感謝し、大学で

ん、自分の苦手を理解することでもできるので、効果的だと思います。

得意科目だった英語の勉強は夏休みが明けてからはじめました。長文聞

私は2度推薦入試に落ちましたが、諦めずに、一般試験で合格しました。最後の希望が消えるまで努力することの大切さを学ぶことができました。

年分しかない小論文と英
国社3科目7割以上取ら
ないと合格は難しい共通
テスト、この2つの準備
を平行して行うことは私
にとって地獄のようだし

われた事もありました。しかし、周りの友達が進路決定した今では、孤独感は消えました。勉強に没頭した経験や複雑な感情を糧として、今後頑張

とを意識しました。

周りの同級生が推薦試験で合格が決まっていく中、何度も心が折れそうになることもありましたが、勉強の合間に好きなアーティストの音楽を聴くなどちよつとした楽しみを作ることで、乗り越えることができました。

ちよつとした息抜きが、受験勉強をする上で大事になってくると思っています。

また、勉強する場所を工夫することで受験へのモチベーションを保つこと

部活動をやりながら国立を目指すことは決して楽なことではありませんでしたが、この取り組みでできた日々が必ず将来への糧となってくれると思います。最後に受験勉強を今から始める後輩の皆さん、必ずこの経験が自信へとつながっていきます。決して楽な日々ではありませんが、楽しみなことから取り組んでみてください。

霧囲気、環境は人の心を
変えていく。私の所属す
る35HRは、一般で受験
する生徒が多いため、模
試のクラス偏差値は右肩
上がりだった。この環境
下にいると自然と自分も
頑張らなくては勉強に
励むことができる。9時
まで学習も1つの例であ
る。友人が頑張っている
なら私もやるしかないとい
う気持ちになる。受験
勉強で息が詰まったとき
に思い出してほしい、苦
しいのは自分だけではな

であるということ。そんなことは誰でも分かる。ただ、このことを理解し行動に移せる人は少ないスマホに娯楽・誘惑は多いが、時間は待ってくれない。

以上の事は、私が出来なかったから感じたことである。ただ合格できたからには、お世話になった方々に感謝し、大学でも勉強に励もうと思う。

でした。学校から配られた問題集2冊とセンター試験の過去問に加え、過去の模試を演習に使って古文や漢文に慣れました。過去の模試は自分の間違えた問題の復習はもうありません、自分の苦手を理解することできるので、効果的だと思います。

得意科目だった英語の勉強は夏休みが明けてからはじめました。長文問題のみになった共通テストに向け、まず速読力を身に付けることから始め

り組むことができたし、周りの仲間の存在に何度
も励まされました。

倫理の山本雅通先生が
よく「落ちて落ちて、最
後に一番良い大学に受か
る」と仰っていました。
私は2度推薦入試に落ち
ましたが、諦めずに、一
般試験で合格しました。
最後の希望が消えるまで
努力することの大切さを
学ぶことができました。

なりませんでした。

私の受験した大学の受験内容は、推薦は英語の小論文、一般（前期）は共通テストのみでした。新設して5年目を迎える学部のため、過去問が4年分しかない小論文と英単語の3科目7割以上取らないと合格は難しい共通テスト、この2つの準備を平行して行うことは私にとって地獄のようでした。勉強する時は計画を立てて紙に書き出し、時間をムダにせず確実に進

いる人もいます。それでも頑張らなくてはならないのが現実でした。

自分で選んだ道なのに、周りが羨ましく感じた時もありました。逆に、先に決まって羨ましいと言われた事もありました。

しかし、周りの友達が進路決定した今では、孤独感には消えました。勉強に没頭した経験や複雑な感情を糧として、今後も頑張りたいと思います。

努力は裏切らない



田中 桃佳

(西益津中出身)

中央大学へ進学
(国際経営学部)

私は、他の人よりも受験勉強に本腰を入れるのが遅く、「頑張った」と言える程勉強し始めたのは11月からでした。10月末に総合型選抜に落ち、

思うように成果が出ず

一般に切り替えた時点で模試で過去最低点を出し共通テスト初年度、新型コロナウィルスも重なり、希望が見えないまま勉強をしていました。特に世界史が弱かったため、9時まで学習で先生のサポートの下、通史や演習を行いました。

受験勉強中に良かったと思ったのは、英検を取っていたことです。2年の時に英検準1級を取っていたので、ほぼ全ての受験校で英語試験が免除された為、苦手分野の勉強に集中できました。

11月から1月までは共通テストを見据え、基礎を固めることを重視し、共通テスト後は私大の応用問題に対応するため、約十数年分の過去問を解いて追い込みをしました。

結果、共通テストでは模試より30点近く点を上げ、共通テスト利用で3つの大学に合格することができました。一般人試も、

努力を惜しまず身を信じて闘う



橋ヶ谷 綾香

(広幡中出身)

常葉大学へ進学
(外国語学部)

私は将来、静岡県で英語を生かした仕事がしたいと思っています。そこで私は、ネイティブスピーカーの先生と触れ合える機会が多くある常葉大学外国語学部英米語学科で自分の英語力をより高めていきたいと思い、

高校1年生の夏休みから

何度かオープンキャンパスなどに積極的に参加をしていました。高校3年生になり、常葉大学の総合能力入試に挑戦することを決めました。この総合能力入試では、面接で、自分がこれから「この大学で何を頑張っているのか」を表現したいのかを明確にして伝えることが大切でした。

そのため、私の面接練習は、まず、「自分を知らず」ことから始まりました。そして、予想される質問にどう答えていくかを考えました。ここで私は大きな壁にぶつかりました。それは、志願理由書に書いた内容をいかに自分の言葉で相手の印象に残るように伝えられるかということです。面接練習を始めた頃の私は、覚えていたことをただ話すロボットのような状態でした。少しでも自分の言葉を付け加えようとするとなってしまう、上手く

目標に向かって



増田 美空

(藤枝中出身)

神戸薬科大学へ進学
(薬学部)

私には将来薬剤師になりたいという目標があります。そのため薬学部を志望していました。ですが高校1年生・2年生をほとんど勉強せず模試の結果や学校の成績はあまりよくありませんでした。勉強習慣がないまま受験生となり、周りがだんだんと受験勉強に取り組み始める姿勢を見て、焦りを感じました。

6月頃、9時まで学習

が始まったこともあり、受験勉強を始めました。最初は長い間集中できなかったり勉強のやり方がわからなかったりしましたが、自分が一番好きな化学を徹底的にやろうと決め、成澤先生にアドバイスをもらい、セミナーを何度もやりました。やり方として、1周目は答えを見ながら公式や解法知識を身につけ2周目に自力で解く、そしてまた答えが自分の力で導けるまで解き続けました。

ある程度の実力ついたら過去問や重要問題集といったレベルの高い問題を解き、受験でつかえる実力を養いました。もち

合格に向けた学習方法



田中 駿平

(青島中出身)

名古屋大学へ進学
(農学部)

私は高1高2で勉強をほとんどしておらず、その上高2の1月頃の定期テストの物理で20点代をとってしまった、このままでは本当に大学進学は無理だと思ったので、高2の2月から勉強を始めました。やろうとは思って

も最初はなかなかできなかったため、友達とどちらが先に理科系の科目を終わらせられるかという競争のようなことをして取り組み始めました。このおかげで、かなり勉強をするようになりました。

また私は、理科系の科目は基礎から全然できてなかったため、競争するときに1からやり直し、1回1回問題集で分野ごとに完成をさせながら進めていたため、2月から6月までの期間ずっと物理、化学だけをやっていました。4ヶ月も2つの科目だけに費やすのは偏りすぎていたように感じるかもしれませんし、私も少し緊張したものの、自分が今まで勉強してきたことを全てを出しきれたと思います。

また、私は多くの先生方や友達、そして両親に支えられて合格できました。たくさん感謝を忘れずに、大学でも頑張りたいと思います。

かげがえのない出会い



松山 明日香

(豊田中出身)

静岡大学へ進学
(教育学部)

私は明誠高校で過ごした3年間を通じて大いに成長出来たと感じています。入学当初は塾講師になりたいと考えていました。しかし、担任の先生が以前塾で働いていた体験談を教えてもらったり、先生方が私達生徒に寄り添い、熱心に指導してくださる姿を見たりして、高校の先生になりたいという思いが強まりました。

受験が迫ってくる中で

何度か心が折れそうになりました。3年生の春の模試で静岡大学はD判定でした。そんな時にある先生が授業中にクラス全員に向かって「良い大学や、第1志望に受かることが大切なのは無い。最後の最後まで挑み続け大学に行つてからも自分のやりたいことに向かった頑張ることが大事なのだ」という話をしてくださいました。この言葉のおかげでモチベーションを保つことが出来たと思います。自宅に居てはだらしてしまふので、塾に行く木曜以外は9時まで学習や年末年始の勉強会に毎回参加しました。推薦入試で不合格になった時も落ち込み過ぎずに、前期試験の勉強に取り組むことが出来ました。共通テスト本番では自己採

点ではありますが、今までで取ったことのない9割を国語と生物で取ることが出来ました。他にも、自分自身の成長につながったこと同好会活動があります。私がお会長の務めた園芸同好会は、友達や先生方と協力して発足した同好会です。私は人と話すことが苦手で、1から企画運営をしなければならなかったのが苦戦をしましたが、花の無かった明誠をもっと明るくしたいという思いで自ら考えて提案をしたり、メンバーと話し合ったりすることでそれらを解決してきました。東館前のクリスマスローズを咲かせたり、青藍祭で飾り作りコーナーを設けたりして、地味でも盛り上げることが出来たと思います。ここで培った積極性やリーダーシップを、これからも生かしていきたいです。

ここまで私を支えてきてくれた、両親、友達そして先生方に対する感謝の気持ちを忘れず、常に「学びつづける」人になれるように努力していきたいです。

推薦入試で不合格になった時も落ち込み過ぎずに、前期試験の勉強に取り組むことが出来ました。共通テスト本番では自己採

